



●発行●

滋賀県大津・南部農業農村
振興事務所農産普及課
草津市草津三丁目14-75

TEL 077-567-5421~5423

FAX 077-562-8144

Email ga35@pref.shiga.lg.jp

発行責任者 住谷 一樹

この印刷物は古紙パルプを配合しています

●Facebookアカウント●

Face to
アグリ大津・南部

随時情報発信中!!



大津・南部の農業

水稻新品種「きらみずき」の栽培がスタート!

近年、県内で栽培される水稻の中生品種では、出穂期以降の台風や長雨、高温登熟の影響で収量・品質が低下することが多くなっています。そこで、県農業技術振興センターにおいて、倒伏に強く、高温登熟性や収量・品質、食味に優れ、安定して栽培できる水稻新品種「きらみずき」が育成されました。

令和6年産の本格デビューに向け、令和5年産をプレデビューと位置づけ、県内約60haで作付けが開始されました。大津・南部管内では13戸の生産者が約10haで栽培されています。

本品種の特徴として、栽培方法を環境こだわり栽培基準より厳しい「化学肥料・化学合成農薬不使用栽培」と「オーガニック栽培（有機栽培）」の2区分に限定し、米市場での存在感を高めたいと考えています。



田植された「きらみずき」

品種特性と栽培上の注意点

成熟期は「秋の詩」より4日早い中生の晩熟期です。「秋の詩」より稈長は21cm短く稈質も硬いため耐倒伏性に優れ、収量、玄米外観品質、食味も優れています。いもち病には「やや弱い」ため、常発地等での栽培には注意が必要です。

移植後の初期生育は比較的旺盛で、分けつを確保しやすい品種ですが、旺盛すぎると幼穂形成期までに栄養不足となり、葉色が極端

に低下することがあります。基肥の過剰施肥を避け、6月後半に葉色が低下した場合は必要に応じて追肥を行います。穂肥は幼穂形成期の1週間前を目安に施用しましょう。

★ 水稻新品種「きらみずき」についての情報を発信しています！ぜひご覧ください ★
近江米新品種特設サイト「#みらいの近江米」(<https://shigaquo.jp/torikumi/mirai/>)



人・農地の未来を考える 「地域計画」を作成しましょう!

① 「地域計画」とは?

地域での話し合いにより、目指すべき将来の農業のあり方と農地利用の姿を明確にする計画です。 **地域計画＝地域農業の将来のあり方＋目標地図**

② 「目標地図」とは?

農地一筆ごとに、今後利用する農業者を示した地図です。農地の貸借の仕組みが変わり、目標地図に基づいて農地の貸借を行うこととなります。

③ 地域計画を作成する理由は?

今のうちから将来の農地利用について話し合い、目指す姿を具体化することで、農地を後世に残し、効率的に農業を営んでいくために作成します。

地域計画作成の方法(作業手順の例)

1 現状の整理

農地の所有者と耕作者の現状を整理し、現況地図を作成します。

2 今後の見込み、意向等の把握

将来の耕作意向等を集落外の担い手も含めてアンケート等で確認します。

3 将来方向について集落で話し合い

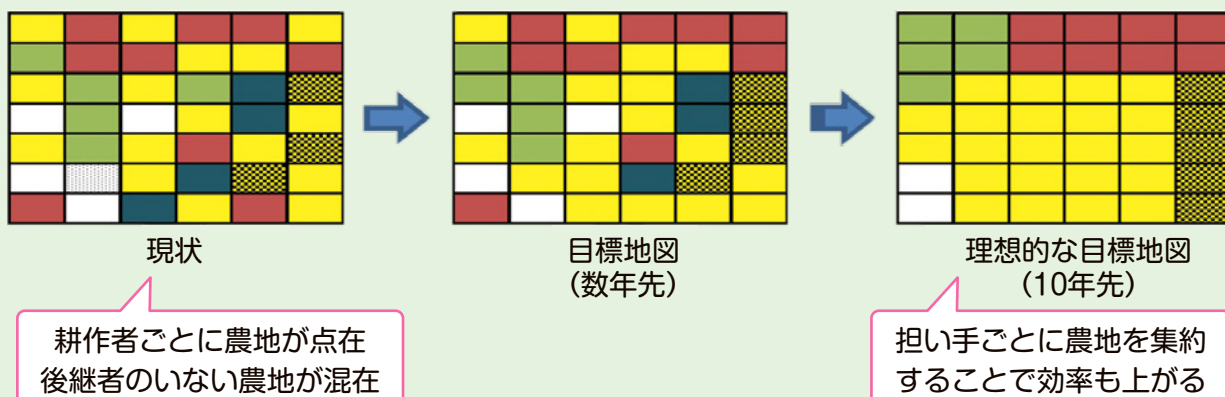
アンケート結果を現況地図に落とし込み、農地の現在と将来を「見える化」します。担い手ごとに農地を集約したり、後継者のいない農地を誰に託すかなどを話し合います。

すべての農地について将来(約10年後)の農業者を明確化します。

4 地域計画案、目標地図案の作成

地域計画の様式に整理して必要事項を記載し、目標地図を完成させます。

目標地図作成のポイント



地域計画は令和7年3月末までに市街化区域を除くすべての地域で作成する必要があります。詳しくは当課または各市の農政担当課までお問い合わせください。



新たに認定された指導農業士の紹介

指導農業士制度とは、担い手の育成、農業振興のリーダーとして活躍していただく農業者を市長の推薦により、知事が認定する制度です。今年度は新たに4名が認定され、管内の指導農業士は総勢21名となりました。

野洲市 辻 久美子さん

辻さんは、野洲市で水稻、麦、大豆、野菜および果樹を生産する株式会社レイクスファームの取締役として、果樹を主体に野菜や法人経理など広く担当されています。

県内の女性農業者同士の連携を図る「しが農業女子100人プロジェクト」や「日本ブルーベリー協会」に所属し、それぞれで重要なメンバーとして活躍されています。

また、これまでから農業高校のインターンシップ等の受入れや就農希望者への助言など、青年農業者の育成に尽力されています。



栗東市 藤田 真吾さん

藤田さんは、栗東市と野洲市を中心に、こまつなやほうれんそうなどの軟弱野菜を周年生産されています。ご自身が所属する出荷グループ「株式会社リッチグリーン」で長年代表を務められたのち、2022年からは「株式会社滋賀有機ネットワーク」で、代表を務めておられます。

特別栽培基準での栽培方法を確立し、安定出荷と出荷量の増加を図っておられるほか、近年は、施設だけでなく、露地での規模拡大を進めておられ

ます。また、自らの就農経験を活かして多くの就農希望者を受け入れられるなど、青年農業者の育成に尽力されています。

守山市 山本麻紀代さん

山本さんは、守山市で水稻、麦、大豆および露地野菜を生産されています。

地域からの信頼を第一に考えられ、丁寧な農場管理を徹底されています。JAレーク滋賀青壮年会「絆の会」をはじめ、「おうみもち麦部会」、「守山矢島かぶら部会」に所属し、地域農業の発展に尽力されています。また、これまでから農機具メーカーの新規採用職員の研修も受け入れてこられました。



野洲市 中谷 征史さん

中谷さんは、野洲市で水稻、麦、大豆および黒大豆を生産されています。日頃から自治会と共に環境保全に取り組み、水稻は環境こだわり農産物の認証を受けておられます。

人とのつながりを第一に考えられており、農作業においても、長年地域の方との協力関係を築いておられます。

また、「野洲市農業経営者協議会」や「JA稲作経営者協議会」の役員を歴任されるなど、地域農業の振興に率先して取り組まれています。

滋賀県立農業大学の紹介

～あなたも滋賀県立農業大学校養成科で学んでみませんか～

修業年限：2年（募集定員30名、所在地 近江八幡市安土町大中503）

専攻コース：水田農業、茶、施設園芸、果樹、畜産

応募資格：高等学校卒業生および令和6年3月卒業見込みの者、またはこれと同等以上の学力を有すると農業大学校長が認めた者

願書受付期間：推薦 令和5年10月6日(金)～10月18日(水)まで
一般 令和5年11月24日(金)～12月5日(火)まで

※詳しくは農業大学校(0748-46-2551)または当課までお問い合わせください。